

損保ジャパン日本興亜ホールディングスがDJSI構成銘柄に選定

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、世界の代表的な社会的責任投資指数（SRIインデックス）で、ESG投資の指標としても有名な「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（以下「DJSI」）」のDJSI WorldおよびDJSI Asia Pacificの構成銘柄に選定されました。

DJSI Worldには2010年4月のSOMPOホールディングス発足から7年連続、子会社の損害保険ジャパン日本興亜株式会社からの通算で17年連続の組入れとなり、日本企業として最長期間の連続選定となります。

1. DJSIの概要

DJSIは、スイスの投資運用およびアドバイス会社で、企業のESGデータの分析・調査を行うRobecoSAM社が米国のダウ・ジョーンズ社と共同で1999年に開発した株式指数で、投資信託会社等がSRIファンドなどを設定する際のベンチマークとして幅広く利用されています。

RobecoSAM社は、企業のサステナビリティ（持続可能性）を「経済・環境・社会」の側面から評価し、総合的かつ先進的な取組みを行っている企業の株式を、長期的にわたり持続的な成長が期待されるDJSI銘柄（World/ Europe/Emerging Markets/ North America/Asia Pacific/Korea/Australia）として選定しています。

2. 選定理由

今年度のSOMPOホールディングスの組入れは、リスクマネジメントや環境マネジメントシステム、金融機能を活かした社会的課題への取組みなどESGの分野において、高く評価されたものです。DJSI Worldでは、全世界の大企業約2,500社から316社（日系企業26社）が、またDJSI Asia Pacificでは、アジア太平洋地域の大企業約600社から146社（日系企業68社）が構成銘柄として選定されました。

3. 今後に向けて

SOMPOホールディングスは、お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、レジリエントで持続可能な社会の実現に貢献していきます。